

## 沿革

平成 17 年 4 月 1 日	東京都立永福学園養護学校（仮称）開設準備室設置（東京都立光明養護学校内）
平成 17 年 10 月 27 日	永福学園養護学校（仮称）基本計画策定（東京都教育委員会）
平成 18 年 10 月 12 日	東京都立学校設置条例の公布により、東京都立永福学園養護学校高等部就業技術科が設置される。
平成 18 年 10 月 12 日	小林 進 初代校長として発令される。 伏見 明 初代副校長として発令される。 海谷 利明 初代経営企画課長として発令される。 二井 康文主幹、山内 俊久主幹、中島 雄佑主幹 山崎 裕之教諭が発令される。
平成 19 年 3 月 26 日	新校舎（改修棟）の引き渡し
平成 19 年 4 月 1 日	金子 和夫 二代経営企画課長として発令される。 伊藤 洋子主幹が着任し、主幹 4 人となる。 教諭 24 人、養護教諭 2 人、実習助手 2 人、係長 2 人、主事 2 人、栄養士 1 人、技能主任 1 人、技能主事 1 人が発令される。
平成 19 年 4 月 6 日	平成 19 年度入学式を挙げる。
平成 19 年 5 月 19 日	開校式を挙げる。
平成 20 年 1 月 16 日	二井 康文主幹 東京都立港養護学校副校長に昇任する。
平成 20 年 4 月 1 日	東京都立学校設置条例の改正により、校名が東京都立永福学園養護学校から東京都立永福学園になる。 山崎 裕之教諭、広瀬 菜々子養護教諭が主幹教諭に昇任し、校長 1 人、副校長 1 人、経営企画課長 1 人、主幹教諭 5 人（主幹養護教諭 1 人を含む）、教諭 47 人、養護教諭 1 人、実習助手 2 人、係長 1 人、主任 1 人、主事 2 人、栄養士 1 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 20 年 4 月 7 日	平成 20 年度入学式を挙げる。
平成 21 年 4 月 1 日	肢体不自由教育小学部、中学部、高等部普通科が設置される。 本校は統括校長校となり、小林校長が統括校長となる。 また、山内 俊久主幹教諭が高等部就業技術科担当副校長に、濱辺 清教諭が主幹教諭に昇任する。岡戸 良雄副校長が肢体不自由教育部門担当副校長に着任し、校長 1 人、副校長 3 人、経営企画課長 1 人、主幹教諭 5 人（主幹養護教諭 1 人を含む）、高等部就業技術科教諭 67 人（主任教諭を含む）・主任養護教諭 1 人・実習助手 2 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 33 人（主任教諭を含む）・非常勤教員 1 人、係長 1 人、主任 1 人、主事 2 人、栄養士 1 人、看護師 1 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 21 年 4 月 6 日	平成 21 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 21 年 4 月 7 日	平成 21 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 21 年 5 月 22 日	肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科開校式を挙げる。

平成 22 年 2 月 11 日	落成式を挙げる。
平成 22 年 3 月 20 日	高等部就業技術科第 1 期生（97 人）の卒業式を挙げる。 94 人が企業就労を果たす。
平成 22 年 3 月 24 日	肢体不自由教育小学部（1 人）・中学部（6 人）の卒業式を挙げる。
平成 22 年 4 月 1 日	中島 雄佑主幹教諭 東京都立武蔵台特別支援学校副校長に昇任する。また、金子 和夫経営企画課長の退職と合わせて経営企画室長校となり、志田 季美江企画管理係長が経営企画室長に昇任する。さらに、西村 健主任教諭が主幹教諭に昇任する。 校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 5 人（主幹養護教諭 1 人を含む）、高等部就業技術科教諭 68 人（主任教諭を含む）・主任養護教諭 1 人・実習助手 2 人・非常勤教員 1 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 44 人（主任教諭を含む）、係長 1 人、主任 1 人、主事 2 人、栄養士 1 人、看護師 2 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 22 年 4 月 6 日	平成 22 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 22 年 4 月 7 日	平成 22 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 23 年 3 月 18 日	肢体不自由教育高等部普通科第 1 期生（9 人）の卒業式を挙げる。
平成 23 年 3 月 19 日	高等部就業技術科第 2 期生（85 人）の卒業式を挙げる。
平成 23 年 3 月 24 日	肢体不自由教育小学部（3 人）・中学部（8 人）の卒業式を挙げる。
平成 23 年 4 月 1 日	伏見 明副校長 教育庁指導部主任指導主事（特別支援教育担当）・都立学校教育部主任指導主事（就学相談担当）兼務として転出し、小池 巳世副校長が肢体不自由教育高等部普通科担当副校長として着任、山田 哲也主任教諭が主幹教諭に昇任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 6 人（主幹養護教諭 1 人を含む）、高等部就業技術科教諭 68 人（主任教諭を含む）・主任養護教諭 1 人・実習助手 1 人・非常勤教員 1 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 50 人（主任教諭を含む）、係長 1 人、主任 1 人、主事 2 人、栄養士 1 人、看護師 2 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 23 年 4 月 6 日	平成 23 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 23 年 4 月 7 日	平成 23 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 24 年 3 月 16 日	肢体不自由教育高等部普通科第 2 期生（7 人）の卒業式を挙げる。
平成 24 年 3 月 17 日	高等部就業技術科第 3 期生（92 人）の卒業式を挙げる。
平成 24 年 3 月 22 日	肢体不自由教育小学部（3 人）・中学部（6 人）の卒業式を挙げる。
平成 24 年 4 月 1 日	山内 俊久副校長が東京都立武蔵台学園副校長として転出し、西田 良児副校長が高等部就業技術科担当副校長として着任、宮川 智主任教諭が主幹教諭に昇任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 7 人（主幹養護教諭 1 人を含む）、高等部就業技術科教諭 68 人（主任教諭を含む）・主任養護教諭 1 人・実習助手 1 人・非常勤教員 1 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 55 人（主任教諭を含む）、非常勤教員 1 人、学校介護職員 23 人、係長 1 人、主

	事3人、栄養士1人、主任看護師1人、看護師2人、技能主任2人、技能主事1人となる。
平成24年4月6日	平成24年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成24年4月9日	平成24年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成25年3月15日	肢体不自由教育高等部普通科第3期生(14人)の卒業式を挙げる。
平成25年3月16日	高等部就業技術科第4期生(89人)の卒業式を挙げる。
平成25年3月22日	肢体不自由教育小学部(8人)・中学部(3人)の卒業式を挙げる。
平成25年4月1日	小林 進統括校長が退職し、朝日 滋也教育庁指導部特別支援学校教育担当課長が着任し、統括校長となる。岡戸 良雄副校長が東京都立小金井特別支援学校副校長として転出し、中村 典男副校長が肢体不自由教育小学部・中学部担当副校長として着任する。志田 季美江企画室長が東京都立調布北高等学校経営企画室長として転出し、馬場美紀経営企画室長が着任する。広瀬菜々子主幹養護教諭が、東京都立蒲田高等学校に転出する。校長1人、副校長3人、経営企画室長1人、主幹教諭6人、高等部就業技術科教諭68人(主任教諭を含む)・主任養護教諭1人・実習助手2人・非常勤教員1人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭56人(主任教諭を含む)、非常勤教員1人、養護教諭1人、主任学校介護職員2人、学校介護職員21人、係長1人、主事3人、栄養士2人、主任看護師1人、看護師1人、技能主任2人、技能主事1人となる。
平成25年4月8日	平成25年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成25年4月9日	平成25年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成26年3月15日	高等部就業技術科第5期生(95人)の卒業式を挙げる。
平成26年3月20日	肢体不自由教育高等部普通科第4期生(10人)の卒業式を挙げる。
平成26年3月24日	肢体不自由教育小学部(6人)・中学部(6人)の卒業式を挙げる。
平成26年4月1日	小池 巳世副校長が東京都立羽村特別支援学校副校長として転出し、阿部 智子副校長が肢体不自由教育高等部普通科担当副校長として着任する。濱辺 清主幹教諭が教育庁都立学校教育部特別支援教育課指導主事として転出し、三谷 保主幹教諭が着任する。平澤 鋼主任教諭、鹿島田 真由美主任教諭が指導教諭に昇任する。校長1人、副校長3人、経営企画室長1人、主幹教諭6人、指導教諭2人、高等部就業技術科教諭66人(主任教諭を含む)・養護教諭1人・実習助手2人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭55人(主任教諭を含む)、養護教諭1人、非常勤教員1人、主任学校介護職員2人、学校介護職員21人、係長1人、主任1人、主事2人、栄養士2人、主任看護師1人、看護師1人、技能主任2人、技能主事1人となる。
平成26年4月4日	平成25年度子供の体力向上推進優秀校として、東京都教育委員会から表彰を受ける。
平成26年4月7日	平成26年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成26年4月8日	平成26年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。

	行する。
平成 27 年 1 月 21 日	平成 26 年度キャリア教育優良学校として、文部科学大臣表彰を受ける。
平成 27 年 3 月 20 日	肢体不自由教育高等部普通科第 5 期生(12 人)の卒業式を挙げる。
平成 27 年 3 月 21 日	高等部就業技術科第 6 期生(93 人)の卒業式を挙げる。
平成 27 年 3 月 24 日	肢体不自由教育小学部(11 人)・中学部(6 人)の卒業式を挙げる。
平成 27 年 4 月 1 日	西田 良児副校長が東京都西部学校経営支援センター統括学校経営支援主事として転出する。三谷 保主幹教諭が高等部就業技術科担当副校長に昇任する。山田 哲也主幹教諭が、三宅村立三宅中学校主幹教諭として転出する。土田 律子主任教諭が主幹教諭に昇任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 5 人、指導教諭 2 人、高等部就業技術科教諭 66 人(主任教諭を含む)・養護教諭 1 人・実習助手 2 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 54 人(主任教諭を含む)、養護教諭 1 人、非常勤教員 1 人、主任学校介護職員 2 人、学校介護職員 19 人、主任 1 人、主事 3 人、栄養士 2 人、主任看護師 2 人、技能主任 2 人、技能主事 1 人となる。
平成 27 年 4 月 6 日	平成 27 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 27 年 4 月 7 日	平成 27 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 28 年 3 月 18 日	肢体不自由教育高等部普通科第 6 期生(6 人)の卒業式を挙げる。
平成 28 年 3 月 19 日	高等部就業技術科第 7 期生(94 人)の卒業式を挙げる。
平成 28 年 3 月 24 日	肢体不自由教育小学部(6 人)・中学部(8 人)の卒業式を挙げる。
平成 28 年 4 月 1 日	中村 典男副校長が東京都立羽村特別支援学校副校長として転出し、安田 英俊副校長が肢体不自由教育小学部・中学部担当副校長として着任する。山崎 裕之主幹教諭が東京都立調布特別支援学校副校長に昇任し転出する。吉長 信顕主任教諭、金田 実主任教諭が主幹教諭に昇任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 5 人、指導教諭 2 人、高等部就業技術科教諭 67 人(主任教諭を含む)・養護教諭 1 人・実習助手 2 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 55 人(主任教諭を含む)、主任養護教諭 1 人、非常勤教員 1 人、主任学校介護職員 3 人、学校介護職員 20 人、主任 1 人、主事 3 人、栄養士 1 人、主任看護師 2 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 28 年 4 月 6 日	平成 28 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 28 年 4 月 7 日	平成 28 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 28 年 6 月 30 日	東京都教育委員会から「平成 28 年度姉妹校交流推進校」に指定され、大韓民国の蔚山広域市「幸福学校」(特別支援学校)と、姉妹校に係る協定を締結する。
平成 28 年 7 月 16 日	開校 10 周年記念式典を挙げる。同日午後、記念祝典(就業技術科)を挙げる。
平成 28 年 7 月 20 日	開校 10 周年記念祝典(肢体不自由教育部門)を挙げる。

平成 29 年 2 月 12 日	第 2 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会（別名、「もう一つの選手権」）において、高等部就業技術科サッカー部が全国優勝を果たす。
平成 29 年 3 月 17 日	肢体不自由教育高等部普通科第 7 期生（11 人）の卒業式を挙げる。
平成 29 年 3 月 18 日	高等部就業技術科第 8 期生（96 人）の卒業式を挙げる。
平成 29 年 3 月 22 日	肢体不自由教育小学部（11 人）・中学部（9 人）の卒業式を挙げる。
平成 29 年 4 月 1 日	阿部 智子副校長が東京都立多摩桜の丘学園副校長として転出し、富樫 忠副校長が肢体不自由教育高等部担当副校長として着任する。安田 英俊副校長が東京都立久我山青光学園副校長として転出し、伴比佐志副校長が小学部・中学部担当副校長として着任する。馬場 美紀経営企画室長が東京都立富士高等学校（附属中学校兼務）経営企画室長として転出し、牧原 雄二経営企画室長が着任する。西村 健主幹教諭が東京都立水元小合学園主幹教諭として転出する。斉藤 奈穂主幹教諭、岩瀬 まり主幹教諭が着任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 6 人、指導教諭 2 人、高等部就業技術科教諭 67 人（主任教諭を含む）・主任養護教諭 1 人・実習助手 2 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 55 人（主任教諭を含む）、主任養護教諭 1 人、非常勤教員 1 人、主任学校介護職員 3 人、学校介護職員 23 人、主任 1 人、主事 3 人、栄養士 1 人、主任看護師 2 人、技能主任 1 人、技能主事 2 人となる。
平成 29 年 4 月 6 日	平成 29 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 29 年 4 月 7 日	平成 29 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。
平成 30 年 3 月 16 日	肢体不自由教育高等部普通科第 8 期生（13 人）の卒業式を挙げる。
平成 30 年 3 月 17 日	高等部就業技術科第 9 期生（98 人）の卒業式を挙げる。
平成 30 年 3 月 22 日	肢体不自由教育小学部（4 人）・中学部（14 人）の卒業式を挙げる。
平成 30 年 4 月 1 日	朝日 滋也統括校長が東京都立大塚ろう学校統括校長として転出し、伏見 明教育庁指導部特別支援教育指導課長が着任し、統括校長となる。 宮川 智主幹教諭が東京都立小平特別支援学校主幹教諭として転出する。吉田 朋之主幹教諭が着任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 6 人、指導教諭 2 人、高等部就業技術科教諭 67 人（主任教諭を含む）、養護教諭 1 人、実習助手 2 人、肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科教諭 51 人（主任教諭を含む）、主任養護教諭 1 人、非常勤教員 1 人、主任学校介護職員 3 人、学校介護職員 24 人、主事 4 人、主任栄養士 1 人、栄養士 1 人、主任看護師 1 人、看護師 1 人、主任非常勤看護師 1 人、技能主任 2 人、技能主事 1 人となる。
平成 30 年 4 月 6 日	平成 30 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 30 年 4 月 9 日	平成 30 年度肢体不自由教育小学部・中学部・高等部普通科入学式を挙げる。

平成 31 年 3 月 15 日	肢体不自由教育高等部普通科第 9 期生(12 人)の卒業式を挙げる。
平成 31 年 3 月 16 日	高等部就業技術科第 10 期生(94 人)の卒業式を挙げる。
平成 31 年 3 月 22 日	肢体不自由教育小学部(11 人)・中学部(6 人)の卒業式を挙げる。
平成 31 年 4 月 1 日	富樫 忠副校長が東京都立水元特別支援学校副校長として転出し、落合隆一副校長が肢体不自由教育高等部担当副校長として着任する。半田利和主幹教諭が着任する。森川 崇主任教諭が主幹教諭に昇任する。校長 1 人、副校長 3 人、経営企画室長 1 人、主幹教諭 8 人、指導教諭 2 人、高等部就業技術科教諭 65 人(主任教諭を含む)・養護教諭 1 人・実習助手 1 人、肢体不自由教育部門教諭 50 人(主任教諭を含む)、主任養護教諭 1 人、非常勤教員 1 人、主任学校介護職員 3 人、学校介護職員 23 人、主任 1 人、主事 3 人、栄養士 2 人、看護師 2 人、技能主任 2 人、技能主事 1 人となる。
平成 31 年 4 月 8 日	平成 31 年度高等部就業技術科入学式を挙げる。
平成 31 年 4 月 9 日	平成 31 年度肢体不自由教育部門入学式を挙げる。